



HIKVISION

デジタル ビデオ レコーダー

クイックスタートガイド

UD01396B
Made in China

目次

第 1 章 パネルの説明	6
1.1 フロントパネル.....	6
フロントパネル 1.....	6
フロントパネル 2.....	6
フロントパネル 4.....	7
1.2 背面パネル.....	9
第 2 章 据付と接続	11
2.1 DVR の据付.....	11
2.2 ハードディスクの設置.....	11
2.3 RS-485 とコントローラーの接続.....	13
2.4 HDD ストレージ計算表.....	14
第 3 章 メニュー操作	15
3.1 メニュー構造.....	15
3.2 起動とシャットダウン.....	15
3.3 本機の起動.....	16
3.4 ログインとログアウト.....	17
ユーザログイン.....	17
ユーザーログアウト.....	18
3.5 信号入力の設定.....	19
3.6 セットアップウィザードの使用.....	20
3.7 ネットワーク設定.....	21
3.8 IP カメラの追加.....	22
3.9 ライブビュー.....	23
3.10 録画設定.....	23
3.11 再生.....	24
第 4 章 ウェブブラウザによるアクセス	26

クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2016 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等を禁ず。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザー マニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示的にせよ黙示的にせよ本マニュアルに関して一切の補償、保証または表明を行わないものとします。

本マニュアルについて

本書は Turbo HD Digital Video Recorder (DVR) に適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。最新版は企業ウェブサイト (<http://overseas.hikvision.com/en/>) でご確認ください。

専門の技術者の指導の下で本ユーザー マニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示黙示を問わず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない）を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

FCC 情報

規制順守担当筋より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になることがあります。

FCC 準拠:本装置は連邦通信委員会規則第 15 条の基準に基づくクラス A デジタル機器です。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザー側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件にしたがうものとします:

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだ、あらゆる干渉受信を容認しなければならない。

EU 適合宣言



本製品および同梱の周辺機器（適用可能な場合）には「CE」マークが付いており、EMC 指令（2014/30/EU）、LVD 指令（2014/35/EU）、および RoHS 指令（2011/65/EU）に掲げる適用可能な欧州統一基準に準拠します。



2012/19/EU（WEEE 指令）：この記号が付いている製品は、欧州連合（EU）の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください：www.recyclethis.info



2006/66/EC（バッテリー指令）：本製品には、欧州連合（EU）の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）、水銀（Hg）を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください：www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)基準要件を満たしています。



安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告:この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

注意:この注意を無視した場合、ケガしたり、装置が破損する可能性があります。

	
警告 重傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策にしたがってください。	注意 ケガや物損の可能性を抑えるために、これらの注意にしたがってください。



警告

- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。
- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV（安全超低電圧）および 100~240 VAC または 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

予防および注意に関するヒント

デバイスを接続して操作する前に、以下のヒントをご確認ください。

- ユニットが風通しのよい、ほこりのない環境に設置されていることをご確認ください。
- ユニットは屋内専用に設計されています。
- 液体の近くで本機を使用しないでください
- 環境条件が工場仕様を満たしていることをご確認ください。
- ユニットがラックや棚に適切に固定されていることをご確認ください。落下によるユニットへの主な衝撃や振動は、内部の繊細な電子機器に損害を与える可能性があります。
- できれば無停電電源装置（UPS）と併用してください。
- ユニットの電源を切ってから、周辺機器の接続や切断を行ってください。
- 工場推奨の HDD を本デバイスに使用してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのものだけ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。



該当モデル

本マニュアルは次のテーブルに列挙したモデルに適用されます。

シリーズ	モデル
DS-7100HGHI-E1	DS-7104HGHI-E1 DS-7108HGHI-E1 DS-7116HGHI-E1
DS-7100HGHI-F1	DS-7104HGHI-F1 DS-7108HGHI-F1 DS-7116HGHI-F1
DS-7200HGHI-E1	DS-7204HGHI-E1 DS-7208HGHI-E1 DS-7216HGHI-E1
DS-7200HGHI-E2	DS-7208HGHI-E2 DS-7216HGHI-E2
DS-7200HGHI-F1	DS-7204HGHI-F1 DS-7208HGHI-F1 DS-7216HGHI-F1
DS-7200HGHI-F2	DS-7208HGHI-F2 DS-7216HGHI-F2
DS-7200HQHI-F1/N	DS-7204HQHI-F1/N DS-7208HQHI-F1/N DS-7216HQHI-F1/N
DS-7200HQHI-F2/N	DS-7208HQHI-F2/N DS-7216HQHI-F2/N
DS-7100HQHI-F1/N	DS-7104HQHI-F1/N DS-7108HQHI-F1/N DS-7116HQHI-F1/N
DS-7100HGHI-F1/N	DS-7104HGHI-F1/N DS-7108HGHI-F1/N DS-7116HGHI-F1/N
DS-7200HGHI-F1/N	DS-7204HGHI-F1/N DS-7208HGHI-F1/N DS-7216HGHI-F1/N
DS-7200HUHI-F1/N	DS-7204HUHI-F1/N DS-7208HUHI-F1/N
DS-7200HUHI-F2/N	DS-7204HUHI-F2/N DS-7208HUHI-F2/N DS-7216HUHI-F2/N
DS-7300HQHI-F4/N	DS-7304HQHI-F4/N DS-7308HQHI-F4/N DS-7316HQHI-F4/N
DS-8100HQHI-F8/N	DS-8104HQHI-F8/N DS-8108HQHI-F8/N DS-8116HQHI-F8/N

記号の定義

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号	説明
	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。

第 1 章 パネルの説明

1.1 フロントパネル

フロントパネル 1

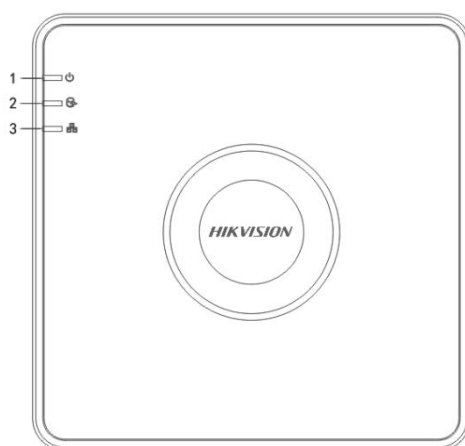


図1.1 フロントパネル 1

表1.1 フロントパネル 1 の説明

番号	アイコン	説明
1		DVRの電源が入ると赤色に点灯します。
2		HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤色に点灯します。
3		ネットワーク接続が正常に機能していると、青色に点滅します。

フロントパネル 2

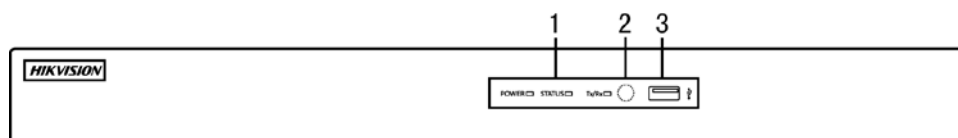


図1.2 フロントパネル 2

表1.2 フロントパネル 2 の説明

番号	名前	機能説明
1	電源	リアパネルにある電源スイッチがオンになると黄色で点灯します。
	状態	HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤で点滅します。
	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、黄色で点滅します。
2	IR レシーバー	IR リモートのレシーバー
3	USB インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。

フロントパネル 4

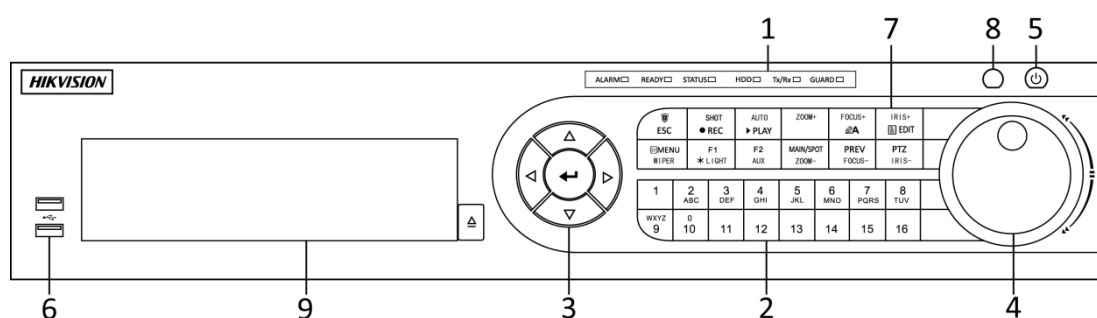


図1.3 フロントパネル 3

表1.3 フロントパネルの説明

番号	名前	機能説明	
1	状態インジケータ	アラーム	センサアラームが検知された際に赤くなります。
		準備完了	DVR が正常に機能していると、緑色に点灯して表示されます。
		状態	デバイスが IR リモートで操作されている時は青くなります。
			キーボードで操作されている時は赤くなり、IR リモートとキーボードが同時に使用されている時は紫になります。
		HDD	HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤で点滅します。
		Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、緑で点滅します。
2	英数ボタン	ガード	本機が警戒状態になると青色で点灯します。異常な出来事が検出されるとアラームが起動されます。
			警戒が解除されると消灯します。ライブビューモードで ESC ボタンを 3 秒以上長押しすると、警戒/警戒解除状態を変更できます。
			ライブビューや PTZ コントロールモードで対応するチャンネルに切り替えます。
2	英数ボタン	編集モードでは数字や文字が入力されます。	
		再生モードでは異なるチャンネル間の切替が行なえます。	

番号	名前		機能説明
			対応するチャンネルで録画されている間、青色に点灯します。チャンネルがネットワーク送信状態になると赤色に変わり、録画・送信状態になるとピンク色に点灯します。
3	操作ボタン	方向	メニューで異なるフィールドや項目を切り替えることができます。
			再生モードで上下ボタンを使用すると、ビデオの再生速度を調整することができます。
			左右ボタンで、前後の録画ファイルを選択します。
			ライブビューモードではチャンネルを切り替えることができます。
			PTZコントロールモードではPTZカメラの動きが制御できます。
		入力	あらゆるメニューモードで選択肢を確定します。
	チェックボックスにマークを入れます。		
	再生モードではビデオファイルを再生または一時停止することができます。		
	シングルフレーム再生モードでは一コマずつ進めることができます。		
		自動切り替えモードでは自動切換を停止/起動しす。	
4	ジョグシャトル操作		メニュー内でアクティブな選択肢が上下に移動します。
			ライブビューモードでは種々のチャンネルを切り替えることができます。
			再生モードでは、ビデオファイルを 30 秒ずつ前後へジャンプさせることができます。
			PTZコントロールモードではPTZカメラの動きが制御できます。
5	電源		電源 on/off スイッチ。
6	USB インターフェイス		USB マウスや USB ハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。
7	コンボジットキー	ESC	前のメニューに戻ります。
			ライブビューモードでは、押すたびに警戒と警戒解除が切り替わります。
		録画/ショット	手動録画設定メニューへ。
			PTZ コントロール設定でこのボタンを押してから、数字ボタンを押すと、PTZ プリセットが呼び出せます。
			再生モードでは音声のオンオフが切り替わります。
		再生/オート	再生モードに進みます。
			PTZ コントロールメニューで自動的にスキャンを行いません。
		ズーム+	PTZ コントロール設定では PTZ カメラがズームインします。
A/フォーカス+	PTZ コントロールメニューではフォーカスが調整できます。		
編集/アイリス+	入力方法 (アルファベットの大きい文字と小さい文字、記号、数字の入力) を切り替えます。		
		テキストフィールドを編集します。テキストフィールドを編集する際には、カーソルの前の文字を削除します。	

番号	名前	機能説明
		チェックボックスフィールドのチェックボックスにマークを入れます。
		PTZコントロールモードではカメラの絞りが調整されます。
		再生モードでバックアップ用のビデオクリップを作成します。
		USB デバイスや eSATA HDD のフォルダに出入りします。
	メイン/スポット/ズーム-	メイン出力とスポット出力を切り替えます。
		PTZコントロールモードでは画像がズームアウトされます。
	F1/照明	リストフィールドで使用する際には、リストのアイテムがすべて選択されます。
		PTZコントロールモードで PTZ ライト (利用できる場合) を点灯または消灯させます。
		再生モードでは、再生と逆再生の切替に使用します。
	F2/補助	タブページを切り替えます。
		同期再生モードではチャンネル間を切り替えます。
	メニュー/ワイパー	メインメニューに戻ります (ログイン成功後)。
		ボタンを 5 秒間長押しするとキーアラート音が停止します。
		PTZ コントロールモードではワイパーが起動します (対応している場合)。
		再生モードでは、コントロールインターフェイスを表示または非表示します。
プレビュー/フォーカス-	シングルスクリーンモードとマルチスクリーンモードを切り替えます。	
	PTZ コントロールモードでは、A/フォーカス+ボタンと一緒に使用してフォーカス調整に使用します。	
PTZ/アイリス-	PTZ コントロールモードに進みます。	
	PTZ コントロールモードでは、PTZ カメラの絞りを調整します。	
8	IR レシーバー	IR リモコン受信機。
9	DVD-R/W	DVD-R/W 用のスロット。

1.2 背面パネル



リアパネルはモデルによって異なります。実際の製品を参照してください。下図は参考のために掲載されています。

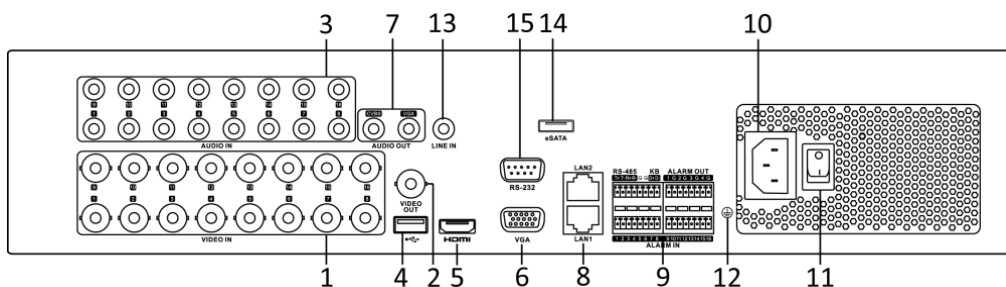



図1.4 背面パネル

表1.4 リアパネルの説明

番号	アイテム	説明
1	ビデオ入力	テレビ入力とアナログビデオ入力用BNCインターフェイス
2	ビデオ出力	ビデオ出力用BNCコネクタ。  注記 DS-7100/7200HGHI-E1、DS-7200HGHI-E2、DS-7100/7200HGHI-F1、DS-7200HGHI-F2、DS-7100HQHI-F1/N、および DS-7100HGHI-F1/N シリーズには CVBS 出力が備えられておりません。
3	音声入力	RCA コネクタ
4	USB ポート	追加機器用 Universal Serial Bus (USB) ポート。
5	HDMI	HDMI ビデオ出力コネクタ。
6	VGA	VGA 出力用 DB15 コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
7	音声出力	RCA コネクタ。
8	ネットワークインターフェイス	ネットワーク用コネクタ
9	RS-485 とアラームインターフェイス	RS-485 デバイス用コネクタ。T+および T-ピンを PTZ レシーバーの R+および R-ピンにそれぞれ接続します。
		D+、D-ピンをコントローラーの Ta、Tb ピンに接続します。機器をカスケード接続する場合には、最初の DVR の D+、D-ピンを、次の DVR の D+、D-ピンに接続します。
		アラーム入力用コネクタ。
		アラーム出力用コネクタ。
10	電源	100~240V AC 電源。
11	電源スイッチ	デバイスを on/off するスイッチ。
12	アース	アース
13	ライン入力	音声入力用 BNC コネクタ。
14	eSATA	外部 SATA HDD、CD/DVD-RW を接続します。
15	RS-232 インターフェイス	RS-232 デバイス用コネクタ。

第2章 据付と接続

2.1 DVR の据付

DVRの設置時の確認事項：

1. ラック取付にはブラケットを使用します。
2. 音声およびビデオケーブルに十分な余裕があることを確認します。
3. ケーブルの配線時には、ケーブルの曲げ半径が線径の5倍未満にならないように注意してください。
4. アラームとRS-485ケーブルを接続します。
5. ラック取付デバイスの間隔は最低2cm (≈0.75インチ) が許容値です。
6. DVRが接地されていることを確認してください。
7. 環境温度は-10°C ~ 55°C (14°F ~ 131°F) の範囲にします。
8. 環境湿度は10% ~ 90%の範囲にします。

2.2 ハードディスクの設置

始める前に：

ハードディスクドライブ (HDD) を取り付ける前に、DVRの電源が切つてあることを確認してください。

この設置手順では工場推奨 HDD を使用してください。

モデルにより、SATAハードディスクを1つか2つインストールできます。

必要な工具：ドライバー



HDD のインストール方法はどのモデルにおいても類似しているため、ここでは DS-7200HQHI を例にとつて手順を説明します。

方法：

1. 背面および側面のネジを緩めて、DVRからカバーを取り外します。



図2.1 カバーを取り外します

2. データケーブルの一端をDVRのマザーボードに、もう一端をHDDに接続します。

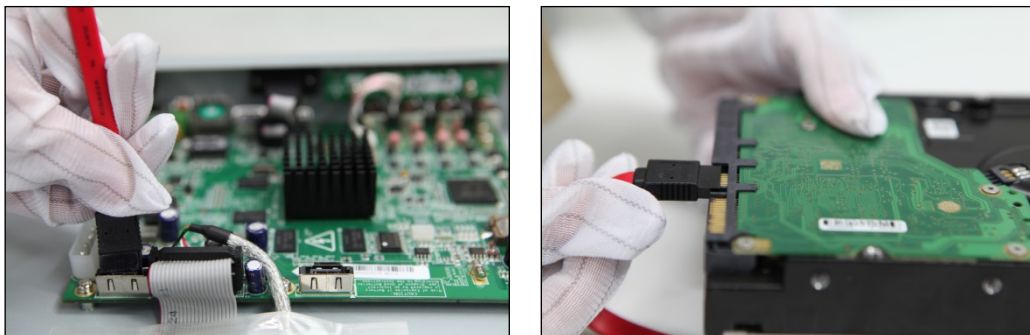


図2.2 データケーブルを接続します

-
3. 電源ケーブルをHDDに接続します。

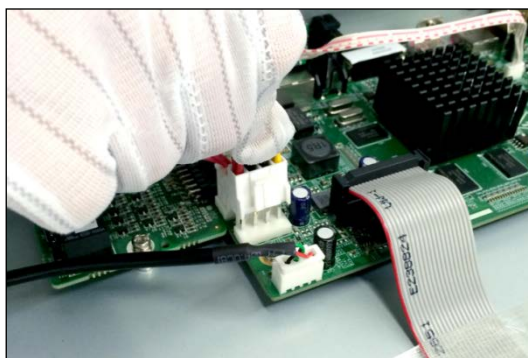


図2.3 電源ケーブルを接続します

-
4. デバイスの下部にHDDを配置し、底面のネジを締めてHDDを固定します。



図2.4 HDD を取り付けます

-
5. DVRのカバーを再度取り付けてネジを締めます。

2.3 RS-485 とコントローラーの接続

一般的な接続：

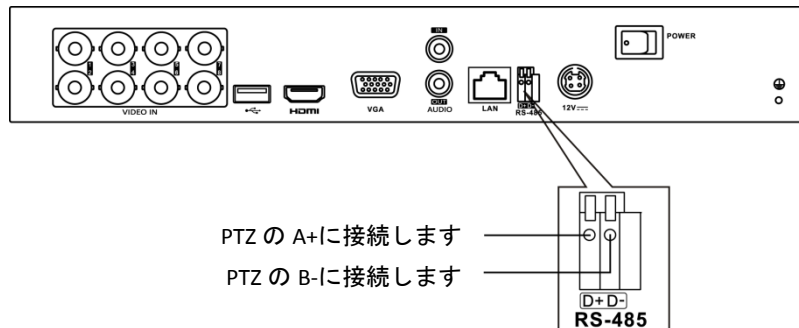


図2.5 コントローラーの接続 A

DVRにPTZを接続する方法：

1. RS-485ターミナルブロックからプラグ式ブロックの接続を外します。
2. プラグ式ブロックのオレンジ色の部分を押し続けます。溝に信号ケーブルを挿入し、オレンジ色の部分を外します。信号ケーブルが固定されていることを確認します。
3. ターミナルブロックのD+にPTZのA+を接続し、ターミナルブロックのD-にコントローラーのB-を接続します。止めネジを締めます。
4. 端子台に接続可能なブロックを差し込みます。



コントローラーとDVRが接地されていることを確認します。

2.4 HDD ストレージ計算表

以下の表は、固定ビットレートで1時間1チャンネルで使用される推定ストレージ容量を示しています。

ビットレート	使用ストレージ
96K	42M
128K	56M
160K	70M
192K	84M
224K	98M
256K	112M
320K	140M
384K	168M
448K	196M
512K	225M
640K	281M
768K	337M
896K	393M
1024K	450M
1280K	562M
1536K	675M
1792K	787M
2048K	900M
4096K	1.76G
8192K	3.52G
16384K	7.03G



注記

上に記載した使用ストレージスペースの値は参考値として挙げてあります。使用ストレージスペースは数式を使って推定された値であり、実際の値と異なる場合があります。

第3章 メニュー操作

3.1 メニュー構造



このメニュー構造はモデルによって異なります。

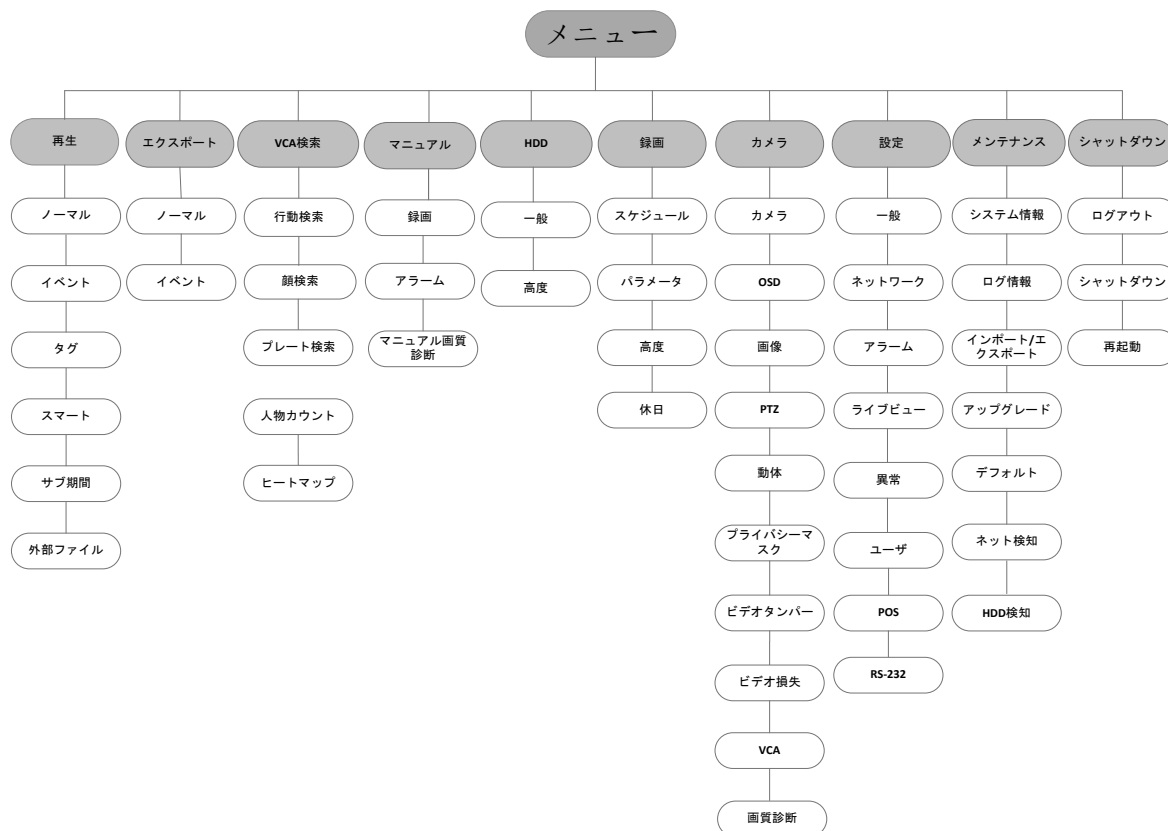


図3.1 メニュー構造

3.2 起動とシャットダウン

DVRの寿命延長のため、適切な方法で起動と停止を行なうことが極めて重要です。

DVRの起動方法：

1. 電源がコンセントに差し込まれていることを確認します。無停電電源装置（UPS）をデバイスとの接続に使用することを強く推奨します。フロントパネルの電源ボタンが赤色で点灯します。これは本機に電源が供給されていることを示しています。
2. フロントパネルの電源ボタンを押します。電源LEDが青色に変化します。ユニットが起動し始めます。

本機が起動したら、ウィザードによって、パスワードの変更、日付と時刻の設定、ネットワークの設定、HDDの初期化、録画など、初期設定の方法が指示されます。

DVRの停止方法：

1. シャットダウンメニューを開きます。
メニュー > シャットダウン



図3.2 シャットダウン

2. シャットダウンボタンを選択します。
3. はいをクリックします。

3.3 本機の起動

目的：

初回アクセスでは、管理者パスワードを設定してデバイスをアクティベートする必要があります。アクティベートするまでは、どの操作も不可となります。本機は、インターネットブラウザ、SADP、クライアントソフトウェアでも起動できます。

方法：

1. **新パスワードの作成**と**新パスワードの確認**のテキストフィールドに同じパスワードを入力します。

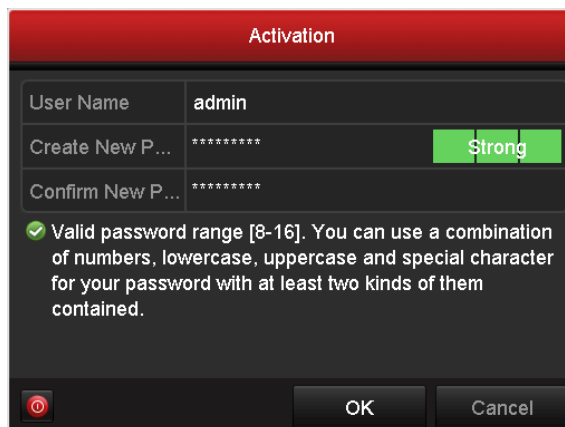


図3.3 管理者パスワードの設定

⚠ 強力なパスワードの推奨 お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

2. OK をクリックしてパスワードを保存し、デバイスをアクティベートします。



旧バージョン機の場合、新バージョンにアップグレードすると、起動時に下のダイアログボックスが現れます。**はい**をクリックし、ウィザードを進めて強力なパスワードを設定できます。

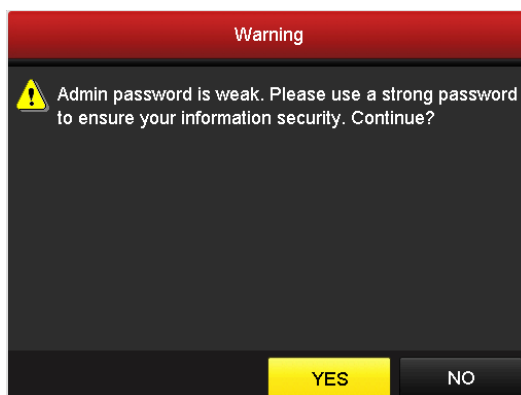


図3.4 脆弱なパスワードに関する警告

3.4 ログインとログアウト

ユーザログイン

目的：

メニューや他の機能进行操作する前にログインする必要があります。

方法：

1. ドロップダウンリストで**ユーザー名**を選択します。

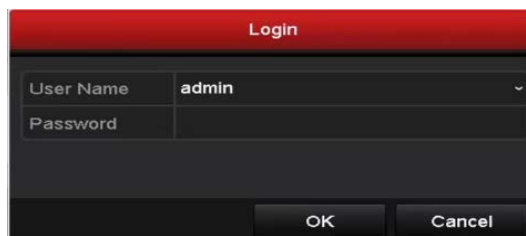


図3.5 ログイン

2. パスワードを入力します。
3. **OK**をクリックしてログインします。



ログインインターフェースでは、管理者が間違ったパスワードを7回入力すると、アカウントが60秒間ロックされます。オペレーターの場合は間違ったパスワードを5回入力すると、アカウントが60秒間ロックされます。

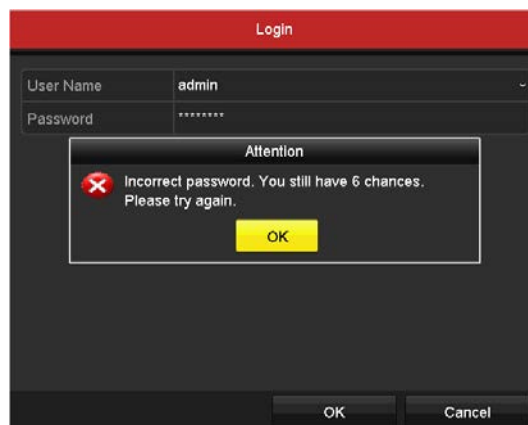


図3.6 管理者のユーザーアカウント保護

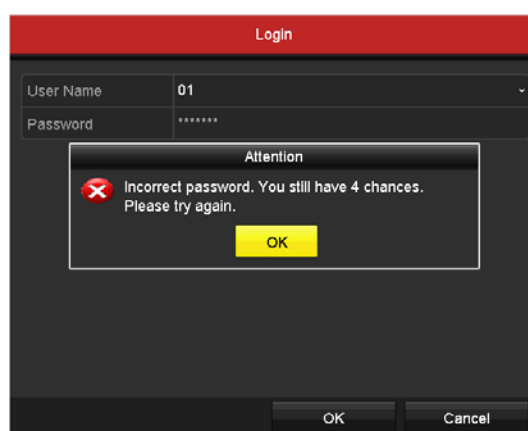


図3.7 オペレーター向けユーザーアカウント保護

ユーザーログアウト

目的：

モニターは、ログアウト後にライブビューモードになります。操作をしたい場合にはユーザー名とパスワードをもう一度入力する必要があります。

方法：

1. シャットダウンメニューを開きます。
メニュー > シャットダウン



図3.8 ログアウト

2. ログアウトをクリックします。



システムからログアウトすると、画面でのメニュー操作は無効になります。システムを解除するにはユーザー名とパスワードの入力が必要です。

3.5 信号入力の設定

起動してログインした後に、本機のシステムは、信号入力を設定するためのウィザードに進みます。

方法：

1. 次のチェックボックスにマークを入れて別の信号入力タイプを選択します:TVI/CVBS、AHD、IP (EシリーズのDVRには、信号入力設定インターフェイスはありません)。
2. **適用**をクリックして設定を保存します。



図3.9 信号入力タイプを設定します (DS-7200HUHI-F/N)



メニュー > カメラ > 信号入力状態の順にクリックしても信号入力を設定することができます。

方法：

1. **信号入力状態**インターフェイスに入ります。
メニュー > カメラ > 信号入力状態
2. 次のチェックボックスにマークを入れて別の信号入力タイプを選択します:TVI/CVBS、AHD、またはIP(EシリーズのDVRには信号入力を設定するためのインターフェイスが備えられていません)から信号入力タイプを選択します。

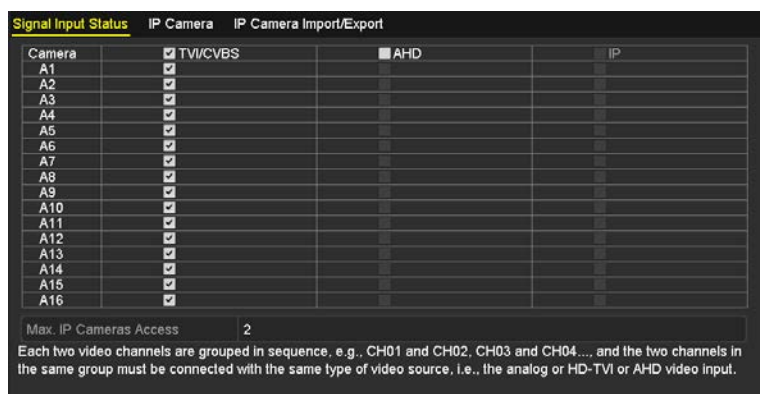


図3.10 DS-7200HUHI-F/N の信号入力タイプの設定

3. 適用をクリックして設定を保存します。



- AHD 信号入力には、F または F/N シリーズの DVR のみ対応しています。
- E シリーズの DVR には信号入力を設定するためのインターフェースが備えられていません。各 2 つのビデオチャンネルはシーケンス順にグループに入れられて、例えば CH01 と CH02、CH03 と CH04 などとなり、また同じグループの各 2 チャンネルはビデオソース (TVI または CVBS) の同じタイプに接続する必要があります。
- 7100/7200HGHI-F/N シリーズの DVR では、各 4 つのビデオチャンネルはシーケンス順にグループに入れられて、例えば CH01～CH04、CH05～CH08 などとなり、また同じグループの各 4 チャンネルは GUI で選択するビデオソースの同じタイプに接続する必要があります。例えば、TVI/CVBS 信号モードを選択した場合、グループ内のチャンネルには TVI または CVBS 信号入力を接続でき、AHD 信号モードを選択した場合は AHD 信号入力のみを接続できます。
- 他の F、F/N シリーズの DVR については、各 2 つのビデオチャンネルはシーケンス順にグループに入れられて、例えば CH01 と CH02、CH03 と CH04 などとなり、同じグループ内の各 2 チャンネルは GUI で選択するビデオソースと同じタイプに接続する必要があります。例えば、TVI/CVBS 信号モードを選択した場合、グループ内のチャンネルには TVI または CVBS 信号入力を接続でき、AHD 信号モードを選択した場合は AHD 信号入力のみを接続できます。
- DS-7200HUHI-F/N シリーズでは、デフォルトの TVI/CVBS 信号入力タイプも、3MP 信号のオート検出に対応しています。それぞれの信号タイプをランダムに組み合わせることも可能です。
- ライブビューインターフェイスでは、アナログチャンネルにビデオ信号がない場合、ディスプレイに、それに対応する接続可能なビデオ信号タイプのメッセージが表示できます。
- DS-7200HUHI-F/N モデルでは、IP チャンネルがインターフェースに表示されず、アクセス可能な IP カメラの最大数テキストフィールドでアクセス可能な IP カメラの最大数を確認できます。

3.6 セットアップウィザードの使用

セットアップウィザードを使用して本機の重要な設定を行なうことができます。デフォルトでは、本機がロードされるとセットアップウィザードが起動されます。

本機が起動したらチェックボックスにマークを入れてセットアップウィザードを有効にします。次へをクリックしてセットアップウィザードを続行します。セットアップウィザードの指示に従ってシステム解像度、システムの日付/時刻、ネットワークの設定、HDDの管理、録画の設定などを設定します。

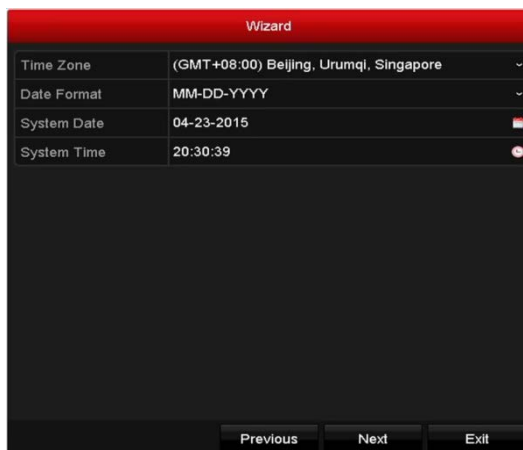


図3.11 ウィザード

3.7 ネットワーク設定

目的：

ネットワーク上で DVR を正常に動作させるには、ネットワークを適切に設定する必要があります。

方法：

1. ネットワーク設定インターフェイスを開きます。

メニュー > 設定 > ネットワーク

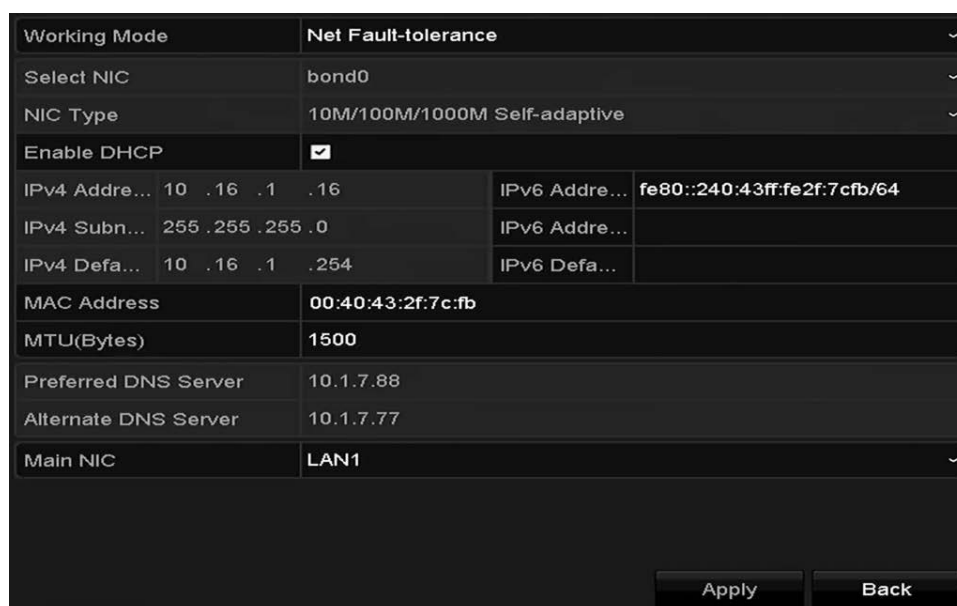


図3.12 ネットワーク設定



DS-8100HQHI-F/N シリーズに 2 つの自己適応型 10M/100M/1000M ネットワークインターフェイス (設定可能な動作モードは次の 3 つ: マルチアドレス、負荷バランス、ネットワーク障害耐性)、および自己適応型 10M/100M/1000M ネットワークインターフェイス 1 つ、またはその他のモデルには自己適応型 10M/100Mbps ネットワークインターフェイス 1 つ。

2. 一般タブを選択します。
3. 一般設定インターフェイスで、次の設定が行えます。NIC タイプ、IPv4 アドレス、IPv4 ゲートウェイ、MTU、DNS サーバー。
DHCPサーバーを使用できる場合、DHCPのチェックボックスを選択して、そのサーバーからIPアドレスとその他のネットワーク設定を自動取得できます。
4. 一般設定が完了したら適用ボタンをクリックして設定を保存します。

3.8 IP カメラの追加

目的：

ライブビデオを取得したりビデオファイルを録画するには、本機の接続リストにネットワークカメラを追加する必要があります。

始める前に：

ネットワーク接続が有効で正しく、追加するIPカメラをすでにアクティベートしていることをご確認ください。非アクティブなIPカメラのアクティベートについてはユーザーマニュアルを参照してください。

IPカメラを追加するには、以下の3つのオプションのうち1つを選択できます。


• オプション1：

方法：

1. ライブビューモードの右クリックメニューから **IP カメラの追加** オプションを選択するか、メニュー > カメラ > カメラとクリックしていき、IP カメラ管理インターフェイスを開きます。



図3.13 IP カメラ管理

2. リストから IP カメラを選択し、 ボタンをクリックしてカメラ（DVR と同じ管理者パスワードを持つもの）を追加します。

• オプション2：

方法：

1. **カスタム追加** ボタンをクリックすると、IP カメラ（カスタム）の追加インターフェイスが現れます。

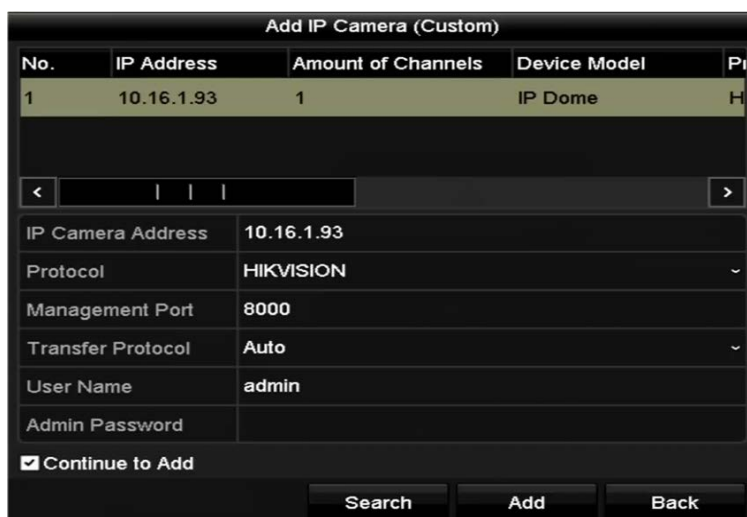


図3.14 IP カメラの追加

- 検出された IP カメラを選択してから、**追加**ボタンをクリックして直接追加すると、**検索**ボタンをクリックして手動でオンライン IP カメラを更新できます。

- **オプション3:**

対応するテキストフィールドのパラメータを編集することで IP カメラをカスタム追加することを選択でき、**追加**ボタンをクリックすると追加できます。

3.9 ライブビュー

ライブビューモードではそれぞれのカメラ状態を示すために画面上にいくつかアイコンが表示されます。これらのアイコンは以下のとおりです。

ライブビューアイコン

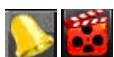
ライブビューモードでは、できる限りすみやかに問題が発見できるように、各チャンネル画面の右上に、チャンネルの録画状態やアラーム状態を示すアイコンがあります。



1つまたは複数のアラームがあることを示します。アラームには、ビデオロス、不正使用、動体検知、センサアラームなどが含まれます。



録画 (手動録画、連続録画、動体検知、アラーム起動型録画)



アラームと録画



イベント/異常 (イベントおよび異常に関する情報で、画面左下に表示されます。)

3.10 録画設定

始める前に:

ディスクがインストールされていることを確認します。インストールされていない場合にはインストールして初期化してください。詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

目的：

以下のセクションでは、インスタント録画と終日録画を含む 2 種類の録画タイプが紹介されています。その他の録画タイプに関する詳細はユーザーマニュアルを参照してください。



再起動後、有効化されたすべてのマニュアル録画がキャンセルされます。

方法：

1. ライブビューウィンドウで、ウィンドウを右クリックし、カーソルを録画の開始オプションに移動させて、希望にあわせて**連続録画**か**動体検知録画**を選択します。

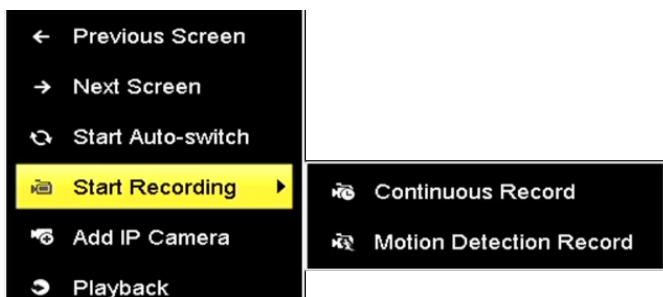


図3.15 右クリックメニューから録画を開始

2. 「注意」ポップアップメッセージボックスではいボタンをクリックし、設定を確定します。選択されたモードで、全チャンネルの録画が開始されます。

3.11 再生

ハードディスク内の録画済ビデオファイルは、インスタント再生、指定されたチャンネルの終日再生、ノーマル/イベント/スマート/タグ/サブピリオド/外部ファイル検索ごとの再生の各モードで、再生できます。

方法：

1. 再生インターフェイスを開きます。
メニュー > 再生の順にクリックするか、右クリックのメニューから再生を選択します。
2. チャンネルリストでチャンネルのチェックボックスを選択してから、カレンダーの日付をダブルクリックで選択します。
3. 再生インターフェイスの一番下にあるツールバーで再生の進め方を制御することができます。



図3.16 再生インターフェイス



これにより、DS-7300HQHI-F/N および DS-8100HQHI-F/N シリーズの DVR のみ対応している POS オーバーレイ機能を有効化または無効化できます。再生中に POS が有効になっていると、POS 情報がビデオに重なって表示されます。

4. 1 個以上のチェックボックスにマークを入れて再生したいチャンネルを選択するか、複数チャンネルの同時再生を実行します。

第4章 ウェブブラウザによるアクセス



インターネットアクセスでの製品の使用は、ネットワークのセキュリティリスクがあることを承諾することになります。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。製品が正常に動作しない場合、ディーラーやお近くのサービスセンターにご連絡ください。

目的：

ウェブブラウザ経由でデバイスにアクセスできます。次のウェブブラウザが使用可能です。Internet Explorer 6.0、Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0、Internet Explorer 10.0、Apple Safari、Mozilla Firefox、Google Chrome。対応解像度は 1024×768 以上です。

方法：

1. ウェブブラウザを開き、デバイスの IP アドレスを入力してから Enter を押します。
2. デバイスにログインします。
 - デバイスがアクティベートされていない場合、ログインする前にまずアクティベートする必要があります。

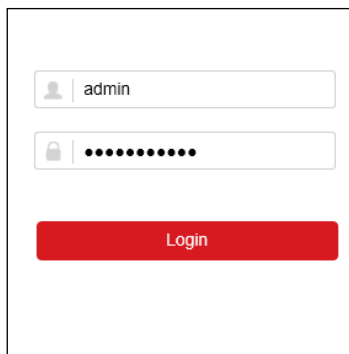
図4.1 管理者パスワードの設定

- 1) 管理者ユーザーアカウントのパスワードを設定します。
- 2) **OK** をクリックしてデバイスにログインします。



強力なパスワードの推奨— お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

- デバイスがすでにアクティベートされている場合、ログインインターフェイスでユーザー名とパスワードを入力し、**ログインボタン**をクリックします。



The image shows a login interface within a rectangular frame. At the top left is a user icon. To its right is a text input field containing the word 'admin'. Below this is a password input field with a lock icon on the left and ten black dots representing masked characters. At the bottom center is a prominent red rectangular button with the word 'Login' written in white text.

図4.2 ログイン

-
3. ライブビデオの表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。インストールの指示に従い、プラグインをインストールします。



プラグインのインストールを完了するためにウェブブラウザを閉じなければならない場合があります。

ログイン後に、ライブビュー、再生、ログ検索、設定など、本機の操作や設定を実行することができます。

03040501060505

Made in China



First Choice for Security Professionals